



# エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取組み～

環境大臣 原田 義昭 殿

発行日 2019年6月18日

リマテックホールディングス株式会社

代表取締役社長 田中 靖訓

私たちリマテックグループは、産業廃棄物のリサイクルを行う企業としての社会的責任を踏まえ、法順守を徹底するとともに、資源循環や地球温暖化対策といった環境分野での社会的課題の解決に貢献するため、以下の取組みを進めてまいります。

## 1. 循環型社会の形成に向けた取組みを積極的に推進します

- ・排出先から受入れた産業廃棄物のリサイクル率 97%以上を目指します。
- ・再生燃料化できる産業廃棄物を増やすための研究を進め、循環型社会の促進に貢献します。
- ・循環型社会の形成に向けた取組みを積極的に推進します。

## 2. 地球温暖化の防止に向けた取組みを積極的に推進します

- ・通常は焼却・埋立といった処理が行われる廃棄物も含めて、様々な工場等から排出される多種多様な産業廃棄物を原料とし、独自の技術により、セメント工場等で利用する再生燃料（RF 燃料）の出荷を、2024 年まで現状より 5% アップします。これにより、工場で使われる石炭等の化石燃料の使用量を抑えることを通じ、温室効果ガスの削減が図られ、脱炭素社会の形成に貢献します。  
※1t の RF から生み出される熱エネルギーは、石炭（一般炭）0.7t に相当し、約 1.62t-co<sub>2</sub> 温室効果ガスを削減できます
- ・国内事業所での CO<sub>2</sub> 排出量（スコープ 1,2）を 2030 年までに 2017 年度比で 20%削減、2050 年までに 49%削減することを目指します。また、サプライチェーンとの協働により、バリューチェーン全体での環境負荷低減を図ります。

## 3. 持続可能な脱炭素社会への貢献を目指します

- ・リマテックグループで取組んでいる再生可能エネルギー事業を今後さらに強化・拡大することで、温室効果ガスの削減とエネルギー自給率の向上に寄与します。
- ・現在保有している太陽光発電設備において、無駄のない効率的な発電と徹底的なメンテナンス・コスト管理による利益計画の達成と、エネルギー自給率の向上と脱炭素社会への貢献を目指します。  
（所有発電所施設：鹿児島 2 拠点、岡山 1 拠点、熊本 1 拠点 合計 6.5kW の発電容量を保有）

## 4. 社員への環境教育・啓発活動を積極的に実施します

- ・環境問題に関する教育や啓発活動を通じて、従業員一人ひとりの意識向上を図るため、社内の取組みに関する報告・説明や教育・研修などを通じた環境関連の情報・知識の習得、および従業員の環境社会貢献活動への参加支援を、グループ全体や事業会社ごとに実施します。

リマテックグループは、上記取組みの進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省への報告をおこなってまいります。



REMATEC  
Innovation for the Earth